

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	261	
部 局 名	産業観光部	所 属 名 観光振興課
事務事業名	00650 国際親善推進事業	所 属 長 川島 英和
		記 入 者 山田 創

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市国際化推進大綱
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	関 連 する 個別計画	
	施策	02	多文化共生・国際交流の推進		
	視点	01	国際交流の推進		
重事	01	姉妹都市・友好都市等との交流の推進			
関連事業	コード	事 務 事 業 名 称		コード	所 属 名 称
予算事業	会 計	枠	事 業 種 別	予 算 事 業 名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	政策	評価対象事業	国際親善推進費	
	一般会計	臨嘱	人件費事業	嘱託職員雇用経費	
事業の概要	姉妹・友好都市を始めとする諸外国との友好親善を図るため、外国人来訪者の受け入れ等に対応する。 また、学校等において国際文化理解教室等を開催し、市民の国際感覚の向上を図る。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	諸外国の文化や風習に対する理解を深め、グローバル化社会に対応するため
対象 (何又は誰を)	市民を対象に
手段 (どのようなやり方で)	姉妹友好都市等を始めとする諸外国との友好親善を図るほか、国際文化理解教室を開催することにより
成果 (どのような状態にするのか)	相互理解を深め、国際性豊かな感覚を身に付ける

< 3. 経費 > DO

	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A	860	2,042	5,237	4,637	4,637	
人件費 B	6,830	5,625	5,685	5,685	5,685	
事業費合計 A+B	7,690	7,667	10,922	10,322	10,322	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	9	4	4	4	4 頒布代「近江八景の幻影」
	一般財源	7,681	7,663	10,918	10,318	10,318
職員数(人)	1.06	1.00	1.00	1.00	1.00	
職員数の内訳	正規	0.70	0.50	0.50	0.50	0.50
	嘱託	0.36	0.50	0.50	0.00	0.00
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50

< 4. 指標 > DO

	指 標 名	単 位	目 標 ・ 実 績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1 諸外国からの訪問団受入回数	回	目標	5	5	5	5	5
			実績	6	6	4	-	-
	公式訪問者受入回数							
	2 国際文化理解教室の開催回数	回	目標	65	65	65	65	65
実績			131	141	142	-	-	
学校・園訪問や出前講座における開催回数								
成果指標	1 諸外国からの訪問者受入人数	人	目標	30	30	30	30	30
			実績	64	41	39	-	-
	公式訪問者受入人数							
	2 国際文化理解教室の受講者数	人	目標	2,030	2,050	2,050	2,050	2,050
実績			3,629	3,729	3,828	-	-	
教室の受講者数								

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	諸外国の社会情勢等は不安定などところもあるが、姉妹友好都市を含む諸外国からの訪問者が増加しており、市民主体での交流希望は多いと推測される。		
これまでの見直しや改善等の経過	市民主体の交流を促進するため、諸外国との連絡調整を積極的に行っているほか、学校や園等における国際文化理解教室を開催している。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input type="checkbox"/> A. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	諸外国からの訪問団との市民交流を促進しているほか、国際文化理解教室の開催により、市民に国際文化に触れる機会を提供できている。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	訪問団の受入れ人数・教室参加人数共に概ね目標を達成しており、特に国際文化理解教室の開催については利用が伸びている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	市民部や教育委員会など他部局との連携により、事業を効率よく推進できている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	訪問団との交流や国際交流員による教室を通じて、市民の国際意識の向上に貢献できている。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	平成31年度より本業務の一部を大津市国際親善協会に委託を行っている。市では市民主体の交流を促進するため、諸外国からの訪問団受入に際し、連絡調整等を行う。
部局長コメント	学校等における国際文化理解教室の開催や、市民団体等の国際交流活動により、市民の国際意識は深まってきていると考えており、今後も主として市民主体の国際親善交流に努めること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
目標達成率	指標1	213.33 %	136.66 %	130.00 %
	指標2	178.76 %	181.90 %	186.73 %
成果増減率	指標1	- %	-35.93 %	-4.87 %
	指標2	- %	+2.75 %	+2.65 %
活動単位コスト	指標1	1,281 千円	1,277 千円	2,730 千円
	指標2	58 千円	54 千円	76 千円
成果単位コスト	指標1	120 千円	187 千円	280 千円
	指標2	2 千円	2 千円	2 千円
コスト増減率	- %	+14.61 %	+42.06 %	

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	262				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	00648 国際親善協会組織強化事業	記 入 者	山田 創		

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	関連する個別計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	大津市国際化推進大綱	
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	02	多文化共生・国際交流の推進		
	視点	02	多文化共生社会への取組		
重事	01	多文化共生の推進			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	大津市国際親善協会組織強化事業費	

事業の概要
市内最大の民間国際交流団体である（公財）大津市国際親善協会の運営を支援することにより、市民主体の国際交流、国際協力活動等の推進を図るもの。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	市民主体の国際交流、国際協力活動を推進するため
対象 (何又は誰を)	(公財) 大津市国際親善協会を対象として
手段 (どのようなやり方で)	補助金交付等、運営に対する支援を行い
成果 (どのような状態にするのか)	地域の国際化と市民の多文化に対する理解の促進を図る。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		14,546	17,336	7,997	21,620	6,897	
人件費 B		1,684	2,812	2,842	2,842	2,842	
事業費合計 A+B		16,230	20,148	10,839	24,462	9,739	
事業費 の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	5,300	0	10,800	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	16,230	14,848	10,839	13,662	9,739	
職員数(人)		0.30	0.50	0.50	0.50	0.50	
職員数 の内訳	正規	0.15	0.25	0.25	0.25	0.25	
	嘱託	0.15	0.25	0.25	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.25	0.25	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	会員登録ボランティア数	人	目標	115	115	115	115	115
				実績	137	133	91	-	-
	国際親善協会会員でボランティア登録している人数								
	2				目標				
			実績						
成果指標	1	ボランティア活動参加者数	人	目標	170	170	170	170	170
				実績	228	200	143	-	-
	ボランティア登録者で実際に協会ボランティア活動に参加した人数								
	2				目標				
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市民の草の根交流を通じて、諸外国との友好親善・相互理解が図られており、市民との協働による国際交流活動を推進していく必要がある。	
これまでの見直しや改善等の経過	大津市補助金適正化基本方針に基づき策定した交付基準により、平成26年度分より施設管理費等の補助率を見直している。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input type="checkbox"/> A. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市民を主体とした国際交流活動や多文化理解につながる事業を行う団体に対し、運営の支援を行うことは、地域の国際化の推進につながる。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	在住外国人と地域住民との交流につながる新たな事業を展開しており、市民の国際意識向上には一定効果が上がっていると考えられる。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	補助金を減額しているが、事業内容を縮小することなく運営されている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	市民が異文化に触れる機会を創出することで、多文化共生や国際交流の推進につながっている。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
	市民ニーズに適應した事業の展開や新規ボランティア会員の開拓等により当該団体の自立化を促す。平成31年度より本市の国際交流事業の一部を委託しており、今後も引き続き公益財団法人大津市国際親善協会の事業内容や分担を見直し、新たな協働体制の下での事業実施を検討する。
部局長コメント	補助金の交付基準に基づき、適切な支援を継続していくこと。また、当該協会の自立性を高めるための自主財源の確保等についても、検討を続けること。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	134.11 %	117.64 %	84.11 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-12.28 %	-28.50 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	118 千円	151 千円	119 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	71 千円	100 千円	75 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+41.52 %	-24.75 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	263				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	00654	多文化共生推進事業	記 入 者	山田 創	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市国際化推進大綱
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	関 連 する 個別計画	
	施策	02	多文化共生・国際交流の推進		
	視点	02	多文化共生社会への取組		
重事	01	多文化共生の推進			
関連事業	コード	事 務 事 業 名 称		コード	所 属 名 称
予算事業	会 計	枠	事 業 種 別	予 算 事 業 名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	政策	評価対象事業	多文化共生推進事業費	
事業の概要	国際化の進展に伴い外国籍市民が増加する中で、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的差異を認め合いながら地域社会の一員としてともに生きていく「多文化共生」社会の実現を目指す。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	地域に住む外国人が安心して暮らせる環境を整備し、外国人との共生社会を実現させるため
対象 (何又は誰を)	日本語によるコミュニケーションが困難な外国人や日本人市民を対象に
手段 (どのようなやり方で)	行政文書の多言語化や窓口等への通訳派遣などを行うほか、関係団体との多文化共生推進事業の共催等による啓発活動の充実を図ることにより
成果 (どのような状態にするのか)	地域住民としての外国人に平等な行政サービスを提供することができるほか、日本人市民の異文化理解力や異文化コミュニケーション能力の向上を図ることができる

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		286	514	1,416	1,311	1,311	
人件費 B		4,370	4,862	4,917	4,917	4,917	
事業費合計 A+B		4,656	5,376	6,333	6,228	6,228	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,656	5,376	6,333	6,228	6,228	
職員数 (人)		0.76	0.75	0.75	0.75	0.75	
職員数の内訳	正規	0.40	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託	0.36	0.25	0.25	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.25	0.25	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	翻訳・通訳サポーター登録数	人	目標	108	108	108	108	108
				実績	94	88	105	-	-
	翻訳・通訳のサポーター登録をしている人の数								
	2	関係団体との共催事業の実施回数	回	目標	5	5	5	5	5
実績				10	13	2	-	-	
多文化共生推進にかかる共催事業実施回数									
成果指標	1	行政文書翻訳件数	件	目標	95	100	100	100	100
				実績	115	115	40	-	-
	行政文書を翻訳した件数								
	2	多文化共生推進事業への参加人数	人	目標	1,300	1,400	1,400	1,400	1,400
実績				1,771	1,895	2,100	-	-	
主催・共催事業への市民の参加人数									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	本市における在住外国人数は横ばい状態であるが、国籍や在留資格などの多様化が進んでいる。		
これまでの見直しや改善等の経過	大津市行政文書翻訳・通訳サポーター制度等の周知を図るなど、多文化共生への対応を進めてきた。また、多文化共生推進用冊子を学校等で配布するなど、市民の意識啓発に取り組んでいる。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input type="checkbox"/> A. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	在留外国人に対し活動しやすい環境を提供し、外国人を地域の一員として受け入れるために必要な事業である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	多文化共生推進事業への参加者数は共に目標値を上回っており、市民の多文化共生に関する関心が高まっていると判断できる。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	翻訳・通訳は市民ボランティアにより支えられている。また、関係団体と多文化共生推進事業を共催することにより、コストをかけずに事業を推進できている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	大津市行政文書翻訳・通訳サポーター制度等によりスムーズな外国人対応ができおり、多様な文化が共生するまちづくりに貢献できている。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	平成31年度より本業務の一部を大津市国際親善協会に委託を行っている。今後も市民ボランティアによる行政文書の多言語化や窓口等への通訳派遣を行うとともに、関係団体との多文化共生推進事業の共催等による啓発活動を進める。
部局長コメント	日本語によるコミュニケーションが困難な外国籍の市民も、公平に行政サービスを享受出来るよう進めること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	121.05 %	115.00 %	40.00 %
	指標2	136.23 %	135.35 %	150.00 %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	-65.21 %
	指標2	- %	+7.00 %	+10.81 %
活動単位コスト	指標1	49 千円	61 千円	60 千円
	指標2	465 千円	413 千円	3,166 千円
成果単位コスト	指標1	40 千円	46 千円	158 千円
	指標2	2 千円	2 千円	3 千円
コスト増減率		- %	+11.68 %	+122.48 %